

みずほCustomer Desk Report 2018/03/06 号 (As of 2018/03/05)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.56
TKY 9:00AM	105.57	1.2318	130.02	1.3796	0.7757
SYD-NY High	106.23	1.2365	131.00	1.3877	0.7778
SYD-NY Low	105.35	1.2269	129.35	1.3767	0.7726
NY 5:00 PM	106.20	1.2335	131.00	1.3848	0.7763
NY DOW	24,874.76	336.70	日本2年債	-0.1700	▲1.00bp
NASDAQ	7,330.71	72.84	日本10年債	0.0400	▲3.00bp
S&P	2,720.94	29.69	米国2年債	2.2398	▲0.41bp
日経平均	21,042.09	▲139.55	米国5年債	2.6443	1.34bp
TOPIX	1,694.79	▲13.55	米国10年債	2.8817	1.47bp
シゴ日経先物	21,415	425.00	独10年債	0.6435	▲0.30bp
ロンドンFT	7,115.98	46.08	英10年債	1.4960	2.50bp
DAX	12,090.87	0.00	豪10年債	2.7175	0.80bp
ハンセン指数	29,886.39	▲697.06	USDJPY 1M Vol	8.67	▲0.46%
上海総合	3,256.93	2.40	USDJPY 3M Vol	8.65	▲0.41%
NY金	1,319.90	▲3.50	USDJPY 6M Vol	8.80	▲0.33%
WTI	62.57	1.32	USDJPY 1M 25RR	-1.45	Yen Call Over
CRB指数	196.67	2.55	EURJPY 3M Vol	8.89	▲0.49%
ドルインデックス	90.00	0.06	EURJPY 6M Vol	9.09	▲0.39%

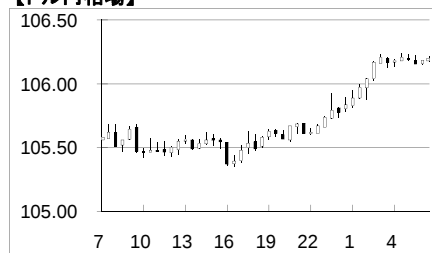
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月5日	10:45	中 財新・サービス業PMI	2月 54.2	54.3
	14:40	日 若田部日銀副総裁候補「必要なら追加緩和を提案する」		
	16:00	日 両宮日銀副総裁候補「出口の手段や日銀収益への影響は検討している」		
	18:00	欧 マークイット・サービス業PMI	2月 56.2	56.7
	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	2月 -0.1%/2.3%	-0.1%/2.0%
3月6日	0:00	米 ISM非製造業景況指数	2月 59.5	59.0

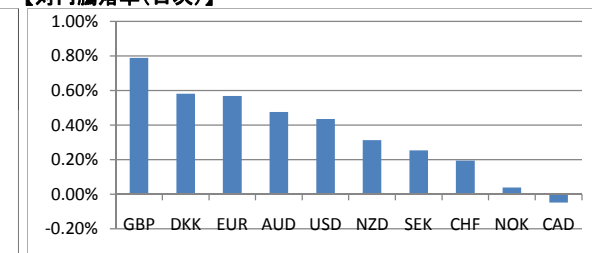
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月6日	9:30	豪 小売売上高(前月比)	1月 0.4%	-0.5%
	12:30	豪 RBAキャッシュレートの	- 1.50%	1.50%
3月7日	0:00	米 製造業受注(前月比)	1月 -1.4%	1.7%
	0:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	1月 -3.6%	-3.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.80-106.80	1.2300-1.2380	130.50-131.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル/円相場は上昇。欧州時間は105.50-60で方向感なく推移していたが、米国時間に入ると、下院議長のライアン氏がトランプ氏の関税引き上げ発言を批判、ホワイトハウスに対しこの計画を進めないように公式に反対したことから、米株・米金利ともに上昇しリスクオンの展開となり、ドル円は105円台半ばから106.20近辺まで上昇した。本日も昨日海外時間からの流れを引きつぎ、日経平均株価も大きく上昇する流れとなり、ドル円も106.50近辺まで上昇するものと考え。 (福田)

東京	貿易戦争を巡るトランプ大統領の発言等を背景としたリスクセンチメントの悪化を受け、早朝のドル円は上値重く、一時105.41まで下落。イタリ総選挙の出口調査結果が判明する中、3勢力とも過半数に達しない見通しを受けてユーロが主要通貨に対して下落。ドル円は105.60台へ戻すも、クロス円が下値幅を広げる中、再度105.40台へ反落するなど上下に振幅した。105.57レベルで東京時間オープン後は105.50台を中心に方向感に欠ける展開。日銀次期副総裁候補2名、若田部氏「必要なら追加緩和を提案」や、両宮理事「出口の手段を検討している」の国会での発言に対する相場への影響も限定的となり、105.56レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は105.56レベルでオープン。日中安値105.35をつける場面があったものの、クロス円の上昇にも支えられレンジ推移となった。イタリ政局先行き不安は払しょくできない一方、ドイツの第2党、社会民主党(SPD)の党員投票の結果、キリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)との大連立合意が賛成多数で承認されメルケル首相4選が確定になりユーロ円が買い戻されたことが相場をサポート。発表された2月の英サービス部門購買担当者景気指数(PMI)が54.5と(前回53.0)4か月ぶり高水準となり英経済の底堅さが確認されポンド円が買われたこともあり、ドル円は105円台半ばで底堅く推移。105.61レベルにてニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	105.61レベルでNYオープン。朝方から軟調に寄り付いた株式市場が下げ渋る展開に、円売りが優勢となり、ドル円は堅調に推移。更に先週トランプ大統領の鉄鋼、アルミに対する輸入関税を引き上げ発言を受け大幅に下落していた株式市場が、行き過ぎ感から買い戻される展開に円売りが優勢となり、ドル円は高値106.23まで上昇。その後、今週は日銀金融政策決定会合や米2月雇用統計、ECB理事会を控えており、狭いレンジでの推移が続き、106.20レベルでクロスした。一方、ユーロドルはアミア時間早朝に1.2365まで戻したものの、イタリ選挙で中道左派、中道右派、ポピュリスム政党の3陣営いずれも過半数に届かずハンガリー・パルメントになることが嫌気され、1.2269まで反落し、1.2298レベルでNYオープン。朝方は、狭いレンジでの推移が暫く続くが、株式市場が堅調に推移する動きを受けたユーロ円の買いにユーロドルは下値をサポートされ、1.2349まで上昇する。午後はレンジ氏が中道左派の民主党の党首を辞任することを発表するが、予想通りであったことからユーロの反応は殆ど無く、1.2330付近での閑散な動きが続き、1.2235レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・坂本